

子育て家庭向け「お引越し下見サービス」提供開始

～その地域に住む子育て中の母親たちによる、生活者目線での地域情報提供～

非営利型株式会社 Polaris（本社：東京都世田谷区／代表取締役：市川望美、以下 Polaris）は、地域で子育てをしている母親たちによる、引越しエリアの選定や物件の下見代行などを行う「お引越し下見サービス」を2012年11月より提供する運びとなりましたのでお知らせいたします。

本サービスは、転勤などによる急な引越しや、遠方からの引越し等で十分な下見や調査が行えない方向けに、子育て真っ最中の母親たちが代わりに物件の内覧や周辺環境の下見を行い、必要な情報を選定してお届けすることはもちろん、そのまちに住んでいるからこそ知りえる情報や、自分が教えてもらって助かった情報や引っ越す前に知っておきたかった情報など、「新しく引越しして来た友達に教えてあげる」といったコンセプトで提供するサービスです。

◆本サービスが生まれたきっかけ

子どもが生まれたことをきっかけに引越しをする人は多いですが、「子どもがいない暮らし」と「子どもがいる暮らし」では活動範囲や生活の視点が変わります。今までよかったことが逆に負担やストレスになってしまったり、様々なギャップを感じる人も多いようです。

子育てはほんの一時期的なこととはいえ、子どもがいなかったころに比べ、在宅時間や身の回りの地域で過ごす時間が増えるので、小さなストレスも積み重なれば大きな負担ともなりますし、「先に知っていれば違う選択をしたかもしれない」という声が多いのも事実です。

また、子どもの成長やライフステージの変化によって、必要な資源や“あったらいいな”と思うサービスが短期間で移り変わっていくのも子育て家庭の特徴です。同じような子育てステージにいる人だけではなく、少し先の環境を経験した当事者による情報提供によって、先の見通しを持ったり、生活における選択の幅を広げることも目的としています。

【例えば】「引っ越す前に知っておきたかった！」体験談

- ・駅が近く通勤に便利だったけれど、周囲にちょっと遊びに行く場所がなく困った。
- ・繁華街に近い物件で便利だったが、歩道が狭くベビーカーでの歩行が困難だった。
- ・坂が多く移動が大変なので、引きこもりがちになってしまった。子供が自分で自転車に乗るようになった時も坂道が危険で心配だった。
- ・急行停車駅の方がよいと思ったが、子どもが生まれてみると各駅停車の駅の方が利用しやすかった。
- ・コンクリート打ちっぱなしのデザイナーズ物件に住んでいたが、子どもの転倒時にひやひやし、結局マットを敷き詰めた。
- ・切迫早産の危険で入院している時に夫の転勤が決まり、物件探しを夫に託したが、10階までエレベーターでその先は階段という物件を契約してきた。見晴らしも良くとても気持ちのいい部屋だったが、子連れでの階段移動がとにかく大変だった。

- ・区境に居住。引越し後に乳幼児の医療費の補助が隣の区の方が充実していると判明。事前を知っていたらその区で探していたかも。
- ・乳幼児の時はよかったが、幼稚園選びの時に通える幼稚園の選択肢が少なかった。
- ・国立小を受験しようと思ったが、志望校の学区外の地域に住んでしまった。
- ・小学校に上がる時、雑木林を通る通学路であることが判明。「痴漢に注意」などの張り紙も多く、女の子がいるので不安なので引越しをした。
- ・子供の数がとても少ない地域で、単学級だった。大人数でのクラブ活動もできない。区内には子供の数が多い学校も沢山あるので、そういった視点があれば他の場所を選んでいたかもしれない。
- ・共稼ぎの時には気にならなかったが、専業主婦になってからは生活コストの高さが負担だった。
- ・子供がラグビーを習っていたが、通いやすい場所にラグビーをやれる場所が無く、遠くまで送迎をすることになり大変だった。

◆お引越し下見サービスの概要

1) 地域性についての情報提供 (サービス名『まるっと地域情報』)

世田谷区に引越すことは決めているが、まだ具体的には絞り込めていない。「下北」「二子玉川」など、えり沿線で幾つか選んだので、その土地のだいたいの雰囲気や、様子、子育て支援の施策やサービスなどについて知りたいなど。

2) 具体的に絞り込んだエリアについての下調べ (同『ピンポイントエリア情報』※1のサービスも含む)

駅は決めているが、その地域の中での暮らし方の違いや特徴を知った上で、物件を探したいなど。子育て支援サービスについての情報や、習い事・教育に関する情報収集等もご要望に応じて対応します。

3) 物件周辺情報の情報提供、下調べ (同『ピンポイントエリア&物件情報』) (※1のサービスも含む)

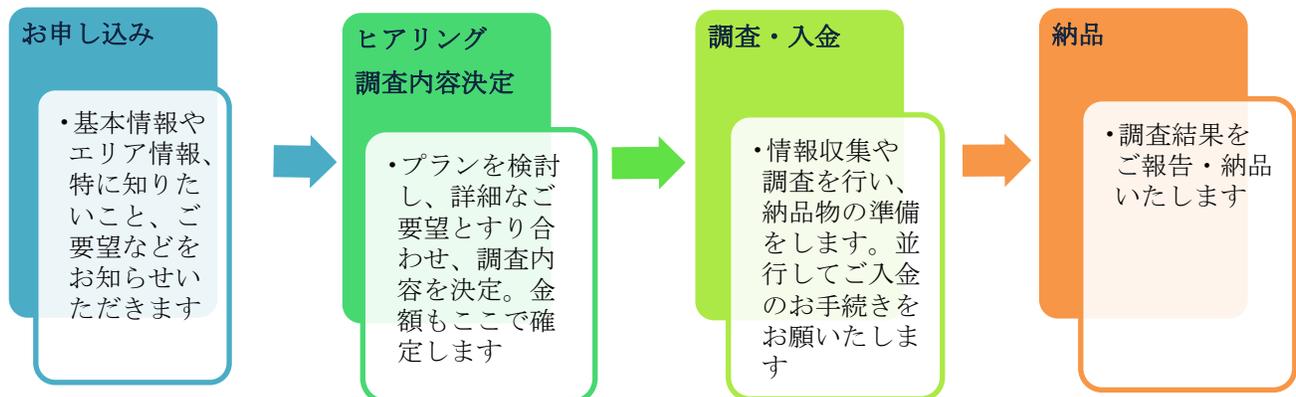
物件の候補は幾つかあるが、転勤や遠方からの引越し、妊娠や乳幼児連れなどによる移動の負担など、自分の目で確認できないので、代わりに見て来てほしいなど。内覧が可能な物件であれば代行も可

※今住んでいる場所であっても「子育ての視点」での情報提供をして欲しいといったケースもあります。

◆費用について

- 1) 7,000円～ (自治体が増えるごとに+3000円～)
- 2) 12,000円～ (エリアが増えるごとに+4000円～・自治体が増えるごとに+3000円～)
- 3) 15,000円～ (エリアが増えるごとに+4000円～・自治体が増えるごとに+3000円～)

◆ご依頼の流れ



◆その他

・お友達への祝いやプレゼント、社員に対する福利厚生、顧客へのサービスなどで本メニューを利用したり、イベント開催時やマンションパビリオン等にブースを設置して地域子育て情報を提供する等も可能です。

◆スタッフについて

本サービスは、地域子育て支援の活動などの経験も豊富なコーディネーターと、愛着を持ってその街で暮らしているメンバー (Loco-worker) が担当しています。

サービス提供にあたっては、幅広く客観的な視点を持つための研修を受け、暮らしを楽しむためのコツや、新しいまちで仲間に出会えるきっかけとなる情報をお届けします。

◆サービスの趣旨について

本サービスは、引越しに関する不安を軽減し、新しいつながりを産み出すために実施しています。

スタッフたちも元々同じように、新しい土地での子育てに不安を抱えたり、地域のことが分からなくて困った経験がありました。色々な情報があふれている中、一番助けになったのは、「その街に暮らす誰か」からもたらされた、温かみのある口コミの情報でした。

それが、たまたまの出会いや偶然の産物ではなく、誰もが受け取ることができるよう事業化しました。

また、地域の子育ての下支えとなっている地域子育て支援の取り組みに、本サービスによる売り上げの 3%を、寄付することといたします。この事業が、地域で新しいつながりを産み出し、より豊かなまちになっていく為の一助となれば幸いです。

◆非営利型株式会社 Polaris について

地域の中で多様なはたらきかた、暮らし方が実現できるよう、おもに育児中の女性たちを対象に人材育成や研修事業、セタガヤ庶務部、企画部、制作部、IT 部など地域人材の組織化のほか、コワーキングスペースの運営などに取り組む。内閣府地域社会雇用創造事業補助金を受け、2011 年 8 月より事業開始。2012 年 2 月法人化。 ホームページ : www.polaris-npc.com/ www.cococi-coworking.com/

※注 1 コワーキングスペースとは

コワーキングとは、独立した事業者がオフィス空間を共有し、アイデアや情報を交換しながら相乗効果を生み出そうとする働き方のことであり、コワーキングスペースはその拠点となるスペース。シェアオフィスのような単なる場所貸しでなく、入居者同士のコミュニケーションが重視される。

※注 2 “cococi” Coworking Space は、Polaris が運営するコワーキングスペース。

地域の様々な資源をお互いに活かしながら、事業とコミュニティの持続的な発展を目指し、「こちよく暮らし、こちよくはたらくための拠点」として運営。

●本サービスに関するお問い合わせ

非営利型株式会社 Polaris 企画部 山本 弥和
電話 050-5539-3532 info@polaris-npc.com

以上